

デザイナーと異業種連携 アート性と機能性を 併せ持つ新商品の開発

洗練されたアクセサリーやインテリアを開発し、米国のハイエンド層をターゲットとした新たなマーケットの創出に取り組む。

所在地：大分県別府市光町 1-5

TEL 0977-22-6439

FAX 0977-22-4342

URL：<http://www.beppu-take-kumiai.com>

代表理事 岩尾一郎

設立：1978年(昭和53年)

資本金：70万円

従業員数：1名



竹製品の共同加工、共同販売や後継者育成事業を主とした事業展開

同組合は、1978年に設立され、翌1979年には「別府竹細工」が大分県唯一の「伝統的工芸品」に認定され、その職人51人が、竹製品の共同加工、共同販売などの需要開拓事業や後継者育成事業を主とした事業展開を行っている。

大分県内の竹材業者、竹製品作家、竹製品卸業者のグループと連携し、竹産業に関わる川上から川下までの各々が抱える経営課題を集約することで、県内の竹産業界全体での取組を推進している。



竹材需要の拡大を図るための販路の拡大や新商品の開発に取り組む

竹ボードやパルプの高度利用の推進、竹製品の共同展示場の設置や竹工芸展の開催など、竹材需要の拡大を図るための販路の拡大や新商品の開発などを行っている。

最近ではデザイナーとの異業種連携により、竹工芸のイメージを覆すような洗練されたアクセサリーやインテリアの開発を図り、米国のハイエンド層をターゲットとした新たなマーケットの創出に取り組んでいる。

このような取組を行政機関と連携しながら進めることで、放置竹林による竹材生産地の活性化が図られ、また後継者育成による伝統技術の保護・継承が図られるなど地域の活性化に寄与している。



「別府竹ブランド」で世界を目指す若手作家の育成・技術の継承に取り組む

アート性と機能性を併せ持つ新商品の開発も、伝統と歴史に培われた高度な職人技あつてのことであることから、同組合では門戸を広く開き、「別府竹ブランド」で世界を目指す若手作家の育成・技術の継承に取り組んでいる。

また、竹製品需要の拡大を通じて県内の竹材利用が拡大すれば、それによる生産者の収入増が竹林の整備に関わる雇用を生み、里山の景観保全にも寄与すると考えられる。

